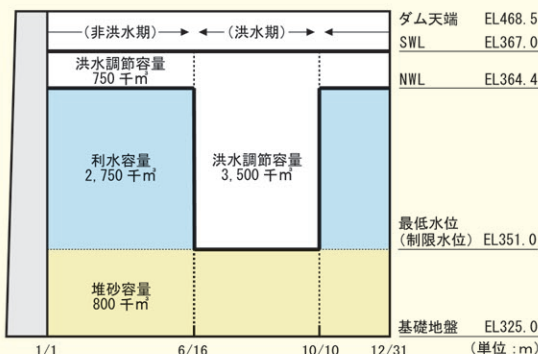


西荒川ダム



■容量配分図



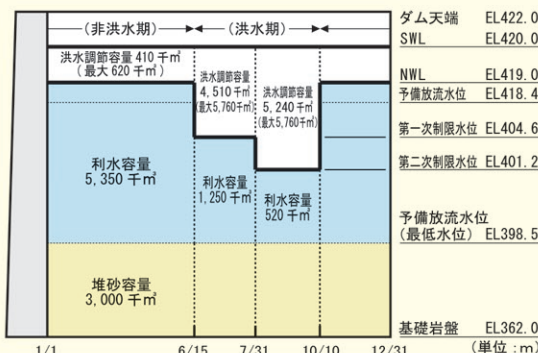
■概要

西荒川ダムは昭和43年度に塩谷郡塩谷町上寺島に建設され、洪水調節・既得取水の安定化と河川環境保全等のための流量の確保を目的としています。本ダムは東荒川ダムと合わせて、荒川の洪水被害の軽減を図っています。ダム湖には東古屋湖という名前が付いており、また上流部はキャンプ場になっています。ダム湖は漁協によって管理され、サクラマス、イワナ、ヤマメなどの釣りを楽しむことができます。

塩原ダム



■容量配分図



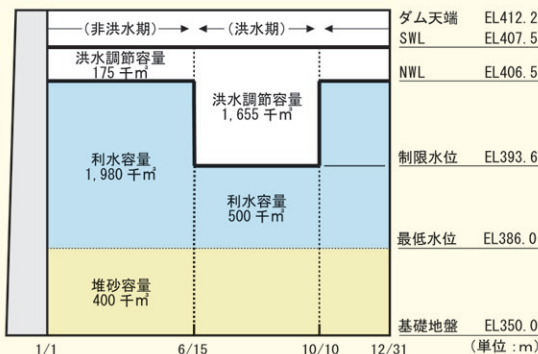
■概要

塩原ダムは昭和53年度に日光国立公園内の那須塩原市金沢に建設され、洪水調節・既得取水の安定化と河川環境保全等のための流量の確保・特定かんがい用水の開発を目的としています。湖上には、全長320mの歩行者専用のつり橋「もみじ谷大吊橋」が架かっており、秋の紅葉シーズンには美しい景色を湖面に映します。また、平成11年度からこの美しい風景を生かして、つり橋をバージロードにして挙式する「塩原フラワーウエディング」が行われています。

寺山ダム



■容量配分図



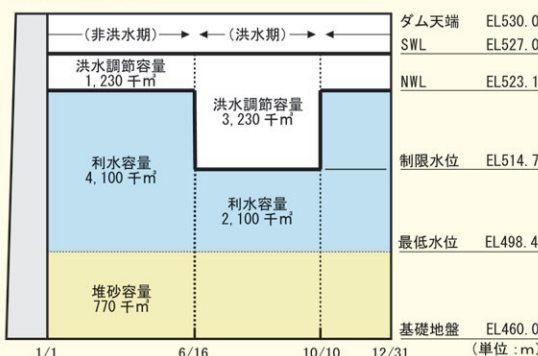
■概要

寺山ダムは昭和59年度に矢板市長井に建設された洪水調節用ゲートが無い自然調節方式のダムです。洪水調節・既得取水の安定化と河川環境保全等のための流水の確保・水道用水の開発を目的としています。本ダムの建設された宮川の上流部には、栃木県民の森などがあり、自然豊かな環境が育かれています。また、ダムの管理に関しては、平成24年度から民間活力を活用して管理用発電と施設の省エネルギー化を図るダムESCO事業を全国に先駆けて導入しています。

東荒川ダム



■容量配分図



■概要

東荒川ダムは平成2年度に塩谷郡塩谷町大字上寺島に建設された洪水調節用ゲートが無い自然調節方式のダムです。洪水調節・既得取水の安定化と河川環境保全等のための流量の確保・特定かんがい用水の開発・水道用水の開発・発電用水の開発の5つを目的としています。上流には名水百選に認定された尚仁沢湧水があり、またダム湖周辺は親水公園として整備されているため、栃木県内外から多くの方が名水を求めて訪れています。